



理振協会会報

■ 編集：(公社)日本理科教育振興協会 広報委員会
■ 制作：株式会社 太洋堂



公益社団法人 日本理科教育振興協会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28
TEL: 03-3294-0715 FAX: 03-3294-0716
URL: <https://www.japse.or.jp>

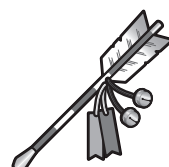
CONTENTS

■ 新年のごあいさつ (p1)

- 令和7年度 政府予算案が発表されました (p5)
- 全小理全国大会を終えて (p5)
- 第12回科学の甲子園ジュニア全国大会が開催されました (p5)

■ 令和7年度 理科教育予算増に向けた活動 (p6)

- 令和6年度 理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会開催 (p6)
- 令和6年度 震災復興教育支援事業 (p7)



謹 賀 新 年

本年も「理科の授業は理科室で!!」運動を展開してまいります

公益社団法人 日本理科教育振興協会
会長 大久保 昇



新年 明けましておめでとうございます。

昨年も多くの方々からご協力をいただき協会事業が発展しております。関係各位の皆様のご支援に深く感謝を申し上げる次第です。

さて昨年のノーベル賞では、現在のAIにつながる技術に関わられた方の受賞が目立ちました。AIは既に様々な科学技術の中で用いられているのですが、昨年大きく生成AIの利用が一般の方にまで伸びたのは、人間とのインターフェースを高めるソフトとハードの技術が飛躍的に高まったからです。簡単な文で指示をすれば、世界中から集めた情報から適切な答えを返してくれます。それは小論文であり、画像、動画でも作成します。ソフトウェアのプログラム作成も得意です。音声で人間との会話も可能なのです。現在はまだまだ未熟であり、AIに適したものは完璧に答えを出しますが、複雑な状況や微妙な感情表現の理解が必要な場合は人間の領域には達しません。しかし日々AIは学習をしていますから、2030年のより前には人間の叡智の総和の10倍もの能力を持つのではという予測があります。

このような時代に迎えた未来に向けての教育はどうあったら良いのでしょうか。まずはAIに使われる側ではなく、AIを使う側にどう子供たちを育てることです。一方で大事なことは、AIより人間が得意な領域をどう伸ばすかです。特に好奇心を大事にし、創造性を磨く。さらには人の幸せのために技術をどのように活用すれば良いのかを考える社会性を醸成する。人を育てる学校の重要性はますます高まると考えます。その中でも理科教育の存在は大きなものになるでしょう。実験や観察を通じて「何故だろうか」という心を常に大事にし、自ら考える力をどうつくれるか。また同じ実験観察をした仲間と何故かを議論する。私どもの協会はこのような理科教育の時間をしっかりと充実しなくてはならないと考えております。

ところが、理科の基本である観察・実験が十分にできていない学校や地域がまだまだ多いのが現状です。毎年、実施している観察実験機器の状況調査では、日常の理科授業で困っていることのトップに、観察実験機器の不足が毎回あげられています。文部科学省が定めた最重点設備は100%保有すべき観察実験機器ですが、それですら小学校70%、中学校60%程度の保有状況であり、残念なことに数年かけてもこの数字がなかなか向上しません。また充足状況に地域で大きな格差があります。実験観察機器は、国の機器整備補助金で整備できるのですが、何年もこの補助金を使っていない自治体が少なからずあるのです。

この状況を変えるべく都道府県教育委員会にお声がけをして傘下の市町村や私立学校に、申請手続きや理科教育設備整備台帳作成の指導を行う講習会を、精力的に開始したところです。是非ともこのことを全国の教育委員会にご案内をしていただくことをお願いいたします。

本年も全国すべての学校の理科室が、児童生徒たちが安全で楽しく観察実験機器に触れ、科学に対する興味関心が深まる場であるように、より一層、理科教育環境向上に鋭意努力していく所存です。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

謹 賀 新 年

副会長 中村 友香

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和6年に理振協会がご支援した、全国小学校理科研究協議会研究大会広島大会、全国中学校理科教育研究会山梨大会、日本理科教育大会東京大会、日本理科教育学会全国大会滋賀大会のいずれの大会も対面での発表形式となり、大変活気のある大会となりました。先生方が晴れやかにご発表されている姿を拝見できますことは、会員の一員としてこの上なく喜ばしい限りです。

令和7年は蛇年です。蛇という恐ろしいイメージもありますが、日本では古代から皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿が再生や永遠の象徴となっています。海外ではギリシャ神話の医療の神の杖にヘビが巻きついていてことから、医学の象徴とされています。理科的にも四肢が退化した細長い姿や生態は大変興味深く、生物の授業では欠かせない存在です。

巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とされています。情熱あふれる先生方のご指導の下、全ての子どもたちの学びが更に充実する年となるよう、会員の皆様と共に更に推し進めて参りたく存じます。本年もよろしくお願い申し上げます。



副会長 小林 啓介

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、旧年中のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

ICTの活用が拡大する一方で、理科教育の根幹をなす「リアルな実験」や実際の観察、触れる体験の価値が、改めて見直されています。これらの体験が、子どもたちの好奇心を引き出し、主体的な学びを支える基盤であると確信しています。

先日、公表された2023年「国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)」では、日本の児童生徒が引き続き高い学力を示した一方、「理数が得意」とする児童生徒の割合は減少しました。こうした課題は、単なる知識の習得にとどまらない、学ぶ楽しさや探究心を育む教育環境の重要性を強調しています。特に理科教育では、現場での体験型学習とICTを活用した学びを組み合わせることで、子どもたちが興味を持ち、自ら考える力を養うことが期待されています。

当法人は、実験器具や体験型学習の機会を提供し、子どもたちが理科の魅力に触れることができる環境づくりに力を入れております。また、先生方の指導を支える教材の充実と、新しい時代に対応した支援の強化にも取り組んでまいります。

会員の皆様とともに、これからの理科教育の未来を築いていくことを心より楽しみにしております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長 西松 正文

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は年初より地震、豪雨災害、猛暑など異常気象に見舞われた一年でした。台風も西から東に列島に沿って進むという常識は通用しないとさえ言えます。ここ数年、このような傾向は続いており、もはや異常とは言えないのかもしれませんが。地球温暖化がもたらす影響は、海水面の上昇だけでなく、生態系や穀物の収穫量にまで影響し、様々なかたちで私たちの生活を脅かします。このような時代を生きる子供たちにとって、理科教育が果たす役割はますます大きくなっていると言わざるを得ません。理科は、実験観察を通じて、問題発見・課題解決を主体的に行い探求していく、これからの時代に必要な能力・資質を育む教科です。理科の見方・考え方をしっかりと身に付け、子供たちがこれからの時代を力強く生き抜けるようになってもらいたいと思います。

理振協会は、「理科の授業は理科室で！」をスローガンに、実験観察を重視し、科学本来の面白さや楽しさを十分に体験できる環境づくりを応援しています。本年も引き続き、理科室の充実、予算拡充などの要望活動に力を入れてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



副会長 中井 泉

新年あけましておめでとうございます。

本年、島津製作所と島津理化を含む島津グループは創立150周年を迎えます。

創業者の島津源蔵は元々は仏具商でしたが、これからは科学の時代が来るとの直感から教育用の理化学機器の製造販売を始めたのが1875年でした。

それから150年の歳月を経て、島津製作所は分析計測装置や医用機器、産業機械などといった分野での仕事にフィールドを移して行きましたが、創業当社の事業である理化学教育事業は島津理化が引継ぎでいます。1884年に2代目島津源蔵が完成させたウイムズハースト式感应起電機も未だに当社で取り扱いを続けています。

日本の科学立国の一翼とならんと欲した島津源蔵の志を当社はこれからも灯を絶やさずに受け継いで行きたいと新年に決意を新たにします。

本年もよろしくお願いいたします。

追記：昨年本欄でご紹介した当社が再蔵させて頂いた国際物理オリンピック2023の実技課題の試験器具は島津製作所殿町事業のロビーにある特設コーナーに展示しています。お立ち寄りの際は是非、ご見学下さい。



謹 賀 新 年

文部科学省初等中等教育局教育課程課長 武藤 久慶

新年あけましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、子供たちや教師が観察、実験で活用する優れた理科教材を開発するなど、日頃から理科教育の充実・発展に多大なる御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

現在、わが国では、政府を挙げて科学技術イノベーションの推進に取り組んでおります。しかし、昨年12月に公表された「IEA国際数学・理科教育動向調査（TIMSS2023）調査」では、小・中学生ともに引き続き世界トップレベルの高い水準を維持しているものの、「算数・数学、理科が得意だ」と思う子供の割合は減少しているといった課題も指摘されています。こうした課題を解決し、科学技術やDXを担う人材のさらなる育成のためには、初等中等教育段階における理数教育の一層の充実が大変重要です。

このような中、学校現場では、GIGAスクール構想によって整備が進んだ一人一台端末を学習の基盤としながら、子供たちの科学技術への興味・関心を高め、科学的に探究する力を育成するため、創意工夫を凝らした教育活動が展開されています。

文部科学省としては、本年も、こうした教育活動をしっかりとお支えるため、観察、実験活動に必要な理科設備整備を支援するとともに、初等中等教育段階から理科好きな児童生徒を育む取組の推進や、デジタル等成長分野を支える人材育成を推進する高等学校における環境整備の支援など、子供たちの資質・能力を育むための施策を講じてまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会の更なる御発展と、皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

文部科学省 初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹

新年あけましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、日頃より理科教育の充実と発展のために御尽力いただき、心より御礼申し上げます。

昨年12月には、TIMSS2023の結果が公表されました。この調査は、国際教育到達度評価学会（IEA）が児童生徒の算数・数学及び理科の教育到達度を国際的な尺度によって測定し、児童生徒の学習環境条件等の諸要因との関係を研究することを目的とした調査であり、4年ごとに教科調査に加え、児童生徒、学校関係者に対する質問調査を実施しているものです。2023年調査には、日本から小学4年生、中学2年生がそれぞれ約3,900人参加し、世界では小学校は58か国・地域から約36万人、中学校は44か国・地域から約30万人が参加しました。その結果、日本は小・中学生いずれも、算数・数学、理科ともに、引き続き高い水準を維持していました。理科は小・中学生とも、調査問題等の影響もあり、平均得点が前回調査と比較して有意に低下しましたが、前回調査と同一問題の正答率は同程度であり、IEAからは最上位の層に位置付けられた国の一つとされています。このことは、現行の学習指導要領で重視している「科学的に探究する学習や問題解決の活動の充実」と「日常生活や社会との関連の重視」について、着実に授業改善が進んできているからではないかと考えています。これらを今後も一層進展させていくためには、児童生徒が観察・実験・実習などを十分に行うことができる学校の環境づくりが欠かせません。

貴協会には、引き続きの御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、益々の御発展を祈念いたします。

文部科学省 初等中等教育局 教科調査官 真井 克子

新年あけましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、平素より理科教育の充実のためにご尽力をいただき誠にありがとうございます。

平成28年12月中央教育審議会答申を踏まえ、高等学校では各学科に共通する教科「理数」が新設されまし

た。数学・理科にわたる探究的科目については、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）で行われている「課題研究」等と同様、将来、学術研究を通じた知の創出をもたらすことができる人材の育成を目指し、そのための基礎的な資質・能力を身に付けることができる科目となることが期待されています。教科「理数」には、「理数探究基礎」、「理数探究」という2つの科目があり、「基礎学ぶ段階」と「探究を進める段階」との2段階で構成されています。昨年、これらの科目を開講する学校に訪問し、「理数探究基礎」や「理数探究」の授業を何度か拝見しましたが、子どもたちの探究の過程を通して主体的に課題解決に取り組む姿には、頼もしいものがありました。

理数や理科の学びにおいて、子どもたちが探究的な学習を行う際、観察、実験は大切です。また、理科を学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高める観点から、日常生活や社会との関連を重視することも重視されています。児童・生徒の資質・能力の育成のため、貴協会には引き続きの御支援、御協力をお願いいたします。

最後に、貴協会の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

文部科学省 初等中等教育局 教科調査官 小林 一人

新年、明けましておめでとうございます。

昨年貴協会におかれましては、理数教育の充実・発展のためにご尽力くださり、誠にありがとうございます。ありがとうございました。

令和元年より小学校・中学校においてGIGAスクール構想が始まり、本年の3月までに高等学校も含めて公立学校での1人1台端末の配備が完了します。理科の学習においては、「観察、実験の代替」としてではなく、科学的に探究する学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付けるとともに、活用する場面に児童生徒が適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要です。例えば、カメラとICT端末を組合せて、観察、実験の結果の分析や総合的な考察を裏付けたり、センサを用いた計測により、通常では計測しにくい量や変化を数値化・視覚化して捉えたりすることなどが有効です。

貴協会には、各学校で科学的に探究する活動が更に充実・発展し、児童生徒の資質・能力の育成が図られるよう、本年も引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

最後に、貴協会の益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

文部科学省 初等中等教育局 教科調査官 有本 淳

新年あけましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、平素より理科教育の充実のためにご尽力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

令和5年7月に令和5年度小学校学習指導要領実施状況調査の結果の速報版が公開されました。理科における成果は、「問題を見だし、その問題を選択すること」や「得られた結果から、より妥当な考えをつくりだし、その考えを選択すること」でした。また、課題は、「問題を見だし、その問題を表現すること」や「習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すこと」などでした。なお、改善の方向性は、「個々の児童が問題を科学的に解決できるよう指導の充実を図ること」や「理科を学ぶことの意義や有用性を感じられるよう指導の充実を図ること」としています。

目の前の子どもの実態を把握し、ICT端末を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行うことが大切です。そして、これらの指導の充実を図るため、貴協会には引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展を祈念いたします。

謹 賀 新 年

一般社団法人日本理科教育学会 会長 久保田 善彦

新年明けましておめでとうございます。

昨年度は、本学会への厚いご支援を賜り、第74回全国大会(滋賀大会)を無事開催することができました。また、その折には、大久保昇会長にも懇親会でご挨拶いただきました。改めて心より御礼申し上げます。

児童生徒1人1台端末環境の実現が進む中、理科学習においても個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が加速しています。また、探究やSTEAM教育の推進、理数系のジェンダーギャップの解消が叫ばれ、小学校から高校までを通して科学的な問題解決や探究における観察・実験がますます盛んになることが期待されます。本学会もそうした教育の一層の発展に貢献できるように学会活動を充実させたいと考えております。なお、本年も8月23日(土)から24日(日)の2日間、富山大学において全国大会を開催いたします。また、3月20日(木)にはオンライン全国大会を開催いたします。昨年同様、日本理科教育振興協会の皆様からのご支援をお願いしますとともに、本年における貴会および会員の皆様のますますのご発展を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



日本理化学協会 会長 上村 礼子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、東京都の工学院大学新宿キャンパスを会場に、全国理科教育大会・第95回日本理化学協会総会を開催いたしました。全国からの350名を超える関係者が参加し、8月7日(木)から9日(金)までの日程で記念講演、意見提示と研究協議、理科教育実践の研究発表、実験講習会、科学の広場などが展開されました。さらに、教育懇話会も再開でき大変有意義な3日間となりました。大会へのご協力、誠に感謝申し上げます。

さて、令和の日本型学校教育では、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現させ、生徒自らが自然現象の中から課題を見だし、解決する方法を考える学習活動を実践していくことが求められます。協会活動を充実させ、全国の先生方をご支援したいと考えております。

今年度5月11日(日)に日本科学未来館において理科教育振興法制定70周年を祝い、記念式典が開催されます。また、日本理化学協会創立100周年の記念式典も同日に挙行いたします。多くの皆様にご参加いただき、今後一層のつながりを深める機会となります事を願っております。また、8月7日(木)から9日(金)の日程で岩手県のアイーナ(いわて県民情報交流センター)において全国理科教育大会・第96回日本理化学協会総会を開催する予定です。引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、理振協会及び会員の皆様方の益々のご発展を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



全国中学校理科教育研究会 会長 石代 俊則

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、シャトレ・ゼロホテル談露館、YCC県民文化会館、山梨県立図書館を会場に、全中理山梨大会を開催することができました。ご多用の中、大久保昇会長はじめ公益法人日本理科教育振興協会の皆様に参加いただくとともに、開発教材コンテスト等、大会開催にあたり、多大なご支援をいただき、改めて御礼申し上げます。

今大会は大会主題を「自然の事物に関わり、観察や実験、科学的な探究活動を通して、持続可能な未来を創造する力を育む理科教育」と設定し、各分科会の主題を踏まえた実践発表が行われました。生徒一人1台端末を有効に活用した授業改善、科学的な探究活動の過程を重視した授業、個別最適な学び及び協働的な学びを取り入れた授業実践など、様々な研究発表が見られました。全国から参加された理科の先生方が、本研究大会において各分科会での発表や協議、講演などを通して得た事柄を日々の理科授業の質の向上に活かしていただけること、そして、さらなる理科教育の発展につなげていただけることを期待しております。

引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、貴協会及び会員の皆様のますますのご発展を祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。



全国小学校理科研究協議会 会長 飯田 秀男

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、JMSアステールプラザを会場に、全国小学校理科教育研究会研究大会広島大会を開催しました。大久保会長をはじめ、公益社団法人 日本理科教育振興協会の皆様には、大会1日目に御参会いただきました。また、開発教材コンテスト等、大会開催にあたり多くの御支援をいただきましたことに、感謝申し上げます。

今後の学校教育の方向性が示される中、時代に求められる三つの資質・能力をいかに育成していくかという課題の解決に取り組むとともに、個に応じた指導や指導と評価の一体化などについても取り組んでまいります。

本年も、引き続きの御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、貴会ならびに会員の皆様の御発展を祈念申し上げます。



令和7年度政府予算案が発表されました

■理科教育設備整備費等補助金（理振予算） 17.16億円（令和6年度予算 17.16億円）

■理科教育における観察実験支援事業 1.96億円（令和6年度予算 1.96億円）

・小中学校における理科の観察・実験を支援する補助員を配置

（観察実験アシスタント＝Preparation Assistant for Scientific Experiments and Observations）…補助率1/3

関連予算

スーパーサイエンスハイスクール支援事業 22.87億円（令和6年度予算 22.86億円）

全小理全国大会を終えて

全国小学校理科研究協議会 会長 飯田 秀男



令和6年11月21日（木）、22日（金）の2日間、第57回全国小学校理科研究協議会広島大会を開催し、約800名の参加者がありました。1日目は、JMSアステールプラザで、総会・研究全体会を行いました。総会では、広島大会の研究主題「身の回りの事物・現象に自ら関わり、共に学び、問い続ける子どもの育成」について基調提案を行いました。基調提案を受け、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 有本 淳 先生から指導講評をいただきました。大会2日目は、広島市立観音小学校、広島市立己斐小学校、広島市立八幡東小学校の3校で、授業公開と研究提案を行いました。



各会場では、問題解決を中心とした授業改善をすることで、自ら学び続けるとともに、共に学ぶ事を大切にした実践が行われたことは、今後の授業のあり方につながるものでした。各都道府県からの研究実践の報告と協議も行

われ、それぞれの地域で、活発な研究が推進されていることを感じることができました。

本会を開催するにあたり、日本理科教育振興協会様には、会長からのご祝辞を賜るとともに、開発教材コンテストを始め大会運営において、多大なるご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

第12回科学の甲子園ジュニア全国大会が開催されました。

本年は、姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじにて開催されました。開催期間は、令和6年12月13日（金）から12月15日（日）で、予選となる都道府県大会には25,772人の生徒がエントリーされ、これまで以上に盛り上がった大会となりました。

総合成績第2位の千葉県代表チームに、（公社）日本理科教育振興協会賞を授与いたしました。その他、理振協会幹事企業各社の賞も授与されました。

総合成績 第2位 日本理科教育振興協会賞	千葉県代表チーム
筆記競技 第2位 内田洋行賞	茨城県代表チーム
実技競技② 第1位 SHIMADZU 賞	埼玉県代表チーム
実技競技② 第2位 ケニス賞	東京都代表チーム
フレッシュマン応援・ナリカ賞	北海道代表チーム



令和7年度 理科教育設備整備予算増に向けた活動

文部科学省への要望活動

令和6年12月度に、公益社団法人日本理科教育振興協会の理事をはじめ、各理科団体役員と一緒に文部科学省理科教育関連部署に、理科教育充実のための要望訪問をいたしました。

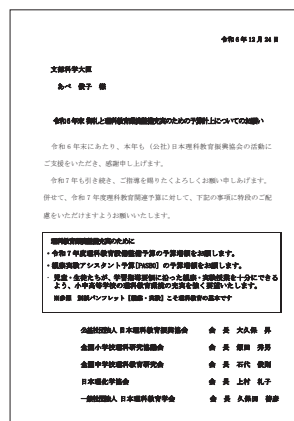
要望内容・・・・・・・・令和7年度の理科教育設備整備費等補助金の増額
消耗品費の十分な確保
理科実験支援員の確保
観察・実験のできる場所の確保



事務次官 藤原章夫様を囲んで



文部科学審議官 矢野和彦様を囲んで



要望文書

自治体への要望活動

岐阜県教育庁に令和7年度理科教育予算増額計上の陳情を行いました。

岐阜県理科教育・教材備品協会の皆様方と理振協会及び幹事企業の方々と訪問いたしました。

11月18日(月)

要望事項

令和7年度理科教育予算増、消耗品費予算増、実験支援員増、理科実験を行える場所の確保



岐阜県教育委員会の皆様と

理科教育設備整備費等補助金事業・台帳作成説明会

令和6年度・理科教育設備整備費等補助事業・台帳作成説明会 実施報告

開催地	実施日	講師	参加者
東京会場 連合会館	10月29日(火)	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 真井 克子 氏	学校法人31、教育委員会9、計40名
名古屋会場 安保ホール	11月5日(火)	文部科学省初等中等教育局教育課程課 視学官 藤枝 秀樹 氏	学校法人8、教育委員会5、計13名

説明会は、平成28年から本年までのべ76会場で実施いたしました。

これまで累計で、学校法人1,348校、都道府県市区町村自治体681自治体、累計参加者3,016名が受講されました。



10/29 東京会場 真井克子教科調査官



11/5 名古屋会場 藤枝秀樹視学官

北海道教育庁との協働開催

北海道教育庁義務教育課様との協働で、理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会を開催いたしました。

開催日時 令和6年12月17日(火) 午後2時～4時

講師 文部科学省初等中等教育局

場所 U-cala 内田洋行北海道支社スタジオ WEB配信

視学官 藤枝 秀樹 先生

隣席者 北海道教育庁 義務教育課

田口 範人 課長

(公社)日本理科教育振興協会

押野 たえ子 課長補佐

常務理事 石崎 裕行

〃

斎藤 孝二 係長

聴講者 39名(宗谷支庁管内自治体1市8町1村、
留萌支庁管内自治体1市6町1村)

〃

山城 達也 氏

地区	道教委	市町村教育委員会	小中学校	計
稚内市・留萌市	3	2	9	14
他市町村		15	10	25
計	3	17	19	39

【配信中の様子】



北海道教育庁 田口課長挨拶



講師 文部科学省 藤枝視学官

内田洋行U-calaスタジオからライブ配信で行われました。北海道教育庁、田口課長の挨拶でスタートし、大久保会長はWEBにて挨拶をいたしました。音声映像ともに安定した環境の中で、行うことができました。

引きつづき、次年度も他支庁対象に、今回と同じようにセミナーを実施する計画を頂けることになりました。

静岡県教育委員会との協働開催

静岡県教育委員会様との協働で、理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会を開催いたしました。

日時 令和6年12月2日(月) 午前10時～12時15分

講師 (公社)日本理科教育振興協会

場所 静岡県東部総合庁舎別館2階第1会議室& WEB配信

常務理事 石崎 裕行

隣席者 静岡県教育委員会 静岡教育事務所

所長 渡邊 晃 氏

聴講者 79名(内来場者17名・静岡県東部地区自治体11市8町)

〃

次長 嶋津 文則 氏

〃

義務教育課

主査 佐久間 夏美 氏

静岡県教委	市町教育委員会	小中学校	計	計
7	23	49	79	39

【配信中の様子】



嶋津次長挨拶



大久保会長 WEBで挨拶

WEBと会場参加の両方で説明会を実施いたしました。事前に提示されていた質問にも説明をして、最後はその他質疑をたくさんいただき、予定よりも15分時間経過して終了いたしました。

次年度も継続して実施していただくことと、静岡県西部地区に対しても同様の説明会を実施していただけるよう検討いただくことになりました。

都道府県主催で理科教育設備整備費等補助金事業の説明会を開催してください

令和6年度震災復興教育支援事業

令和6年は、再度、福島県帰還困難地区であった、南相馬市・浪江町・双葉町の小学校を対象に理科実験支援事業を実施いたしました。

理振協会幹事企業が、最新の実験機器を持ち込み実験授業を実施しました。被災地の児童たちには、たいへん喜んで理科実験を体験していただきました。

実施期間 9月～12月

実施地区 福島県南相馬市 1校、浪江町 1校、双葉町 2校
3自治体 4校 児童数32名 8時間



南相馬市小高小学校

ミクロの世界に感動を！ ハイクオリティ顕微鏡



ケニス 生物顕微鏡 E5

¥89,000～
(税込¥97,900～)



1. 観察しやすい超広視野レンズ採用
2. 湾曲収差が少ないプランレンズ採用
3. 疲れにくいロードライブハンドル採用

K ケニス株式会社
Kenis
<https://www.kenis.co.jp>

発見、ときめき！ 理科学機器のケニスです。

●本社 大阪市北区天満2丁目7-28 Tel.(06)4800-0721
●東京支社 東京都江東区佐賀1丁目2-8 Tel.(03)3630-8121
●福岡支店 福岡市博多区東比恵3丁目16-3 Tel.(092)473-6600
●広島支店 Tel.(082)537-2511 ●仙台営業所 Tel.(022)302-5460
●札幌営業所 Tel.(011)746-1061